



公益財団法人
日本医療機能評価機構認定病院
公益社団法人 日本人間ドック学会
人間ドック健診施設機能評価認定施設

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867) 52-1191(代)
FAX (0867) 52-1917
https://www.kaneda-hp.or.jp



進化する検査室を目指して

R3年10月10日に開催された日本医療検査科学会第53回大会において、中央検査科土居卓也臨床検査技師が「新しい検査システム導入による業務効率化へのチャレンジ」について発表し、その内容が検査科業界の情報誌に掲載されましたのでご報告いたします。

当院の中央検査科には9名の臨床検査技師が在籍しています。臨床検査技師の業務には、採取された血液や尿、細胞等を分析装置や顕微鏡を用いて行う検体検査と、心電図や超音波等の医療機器を用いて身体の機能を調べる生理機能検査があります。病気の早期発見や治療方針の決定、病状の確かな把握、治療効果の判定ならびに人間ドック健診において重要な役割を担っています。

昨年3月当院は、全自動免疫生化学統合システム「ヒトロスXT7600」と「検体搬送システム」を導入しました。装置導入後の検体検査業務は、感染リスクの排除、品質・精度保障の向上、効率的な検査工程による少人数体制の実現につながりました。その結果、時間や人員にゆとりが生まれ、新たな研修に取り組み等の勤務環境改善が可能となりました。

また、血液検査を受けられる多くの方にとっては採取する検体の本数が減り、身体的負担の軽減と採血時間の短縮につながりました。さらに、以前の装置では夜間・休日の緊急検査において起動後測定可能

中央検査科技師長
臨床検査技師
見村 典子

になるまでに時間を要しましたが、新しい装置ではすぐに測定が可能となり、検査結果を医師に報告するまでの時間が短縮されました。さらに、ほとんどの血液検査装置は外部から水の供給を必要とするため、災害時に断水が発生すれば検査が中断してしまつたのに対し、導入した装置では外部から水の供給が不要なため、電気の供給が確保できていれば検体検査の継続が可能となりました。

今後は専門職として採血業務を行う体制を整え、病院全体の業務効率化にも貢献したいと考えています。これからも地域の皆さまのご期待にお応えできるよう一層精進いたします。



THE MEDICAL & TEST JOURNAL(R3年12月1日掲載)
[許諾番号20211215-1]

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、風邪症状、倦怠感、味覚障害、嗅覚障害等のある方は病院に入られる前に、お電話にて症状をお伝えください。皆さまの理解とご協力をよろしくお願いいたします。

金田病院：(0867)52-1191

地域医療研修医師



岡山医療センター

近藤 花織

学生実習

○岡山大学

医学部 医学科

1名

新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性がございます

2月の金田病院外来診療日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

■ 休日急患担当医(午前9時~午後5時)
 ■ 内科・外科当番日(小児は小児科医師が診療)
 ■ 外科当番日
 □ : 通常診療 □ : 午前診療
 ■ : 休診

令和4年の標語 「積み上げる 地域の信頼 一つずつ」

緑社会の理念
金田病院の理念
金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 機能分化と連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

